

## 介護老人保健施設ひしの里 入所判定基準

### 入所判定会議

入所判定会議では、以下に説明する「入所判定基準」に則り、施設長以下、各専門職それぞれの見地から総合的に判定を行い、合議により入所の可否を決定いたします。

### 入所判定基準（各フロア共通）

介護老人保健施設ひしの里の入所要件は以下の通りです。

#### 1.介護保険

入所：要介護 1～要介護 5 の方。

短期入所（ショートステイ）：要支援 1・2、要介護 1～要介護 5 の方。

#### 2.医療・看護面

##### 病状が安定していること

病状が安定しているとは、何らかの病気があっても、内服薬を服用し、症状が落ち着いている状態を言います。かかりつけ医（主治医）の介護サービス共通健康診断書や診療情報提供書をもとに判定します。

なお、症状自体は安定していても、次のような場合は、ご利用をお断りする場合があります。

- 入院治療や定期的に（週 1 回以上の）通院治療の継続が必要。
- 人工透析、人工呼吸器管理、気管切開後の処置が必要。
- 在宅酸素療法。
- 点滴、経鼻経管による栄養剤や抗生剤の投与、抗がん剤や化学療法が必要。
- 胃瘻による経管栄養法。
- 認知症に伴う不穏行動、夜間叫声、自傷他害のおそれがあるなど精神科で専門的治療が必要。
- 他利用者や職員に対し、暴力行為やセクハラ行為等があり、集団生活の適応が著しく困難であると判断した場合。

（備考）次の看護的処置は、対応可能です。（※但し一部制限があります）

- インシュリン投与（固定打ち）（※スライディングスケール打ちは不可）
- バルーンカテーテルによる排尿ケア
- ストーマケア
- 喀痰吸引（※吸引の頻度により判定します）
- 褥瘡（※患部の大きさや深さ、改善程度により判定します）

##### 感染症にかかっていないこと

- HBS：陽性となった場合は内科を受診し感染性のないことを確認した上で入所可。
- HCV：陽性となった場合は内科を受診し感染性のないことを確認した上で入所可。
- 肺結核：既往歴がある方は、内科を受診し感染性がないことを確認した上で入所可。
- MRSA：入所前の医療情報等を確認した上で入所可。
- HIV：入所前の医療情報等を確認した上で入所可。
- 疥癬：既往歴の有無を問わず、皮膚症状で掻痒感などがある方は、皮膚科を受診し感染性のないことを確認した上で入所可。

##### 入所後の方向性

1. 介護老人保健施設の役割と目的を理解し、在宅復帰、あるいは自宅以外でも、介護付（または住宅型）有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅、グループホームなど居宅施設での生活を目的に、当施設でのリハビリ及び生活リハビリを利用者本人が希望されていること。
2. 介護老人保健施設の役割と目的を理解し、家族も共に協力していただけること。